

芦田川さかなマップ

2019年9月29日作成

※このマップは、トヨタ自動車の「トヨタ活動助成プログラム」、公益財団法人日野自動車グリーンファンドの助成を受けて作成したものです。

凡例 確認マーク(○印)は左側が最新年度です。

- 2019年 ●2014年 ●2009年
- 2017年 ●2013年 ●2008年
- 2016年 ●2011年 ●2007年
- 2015年 ●2010年 ●2006年
- 2005年

(特) 特定外来種
 (貴) きれいな川に住む魚など、芦田川にとって貴重な種類。

出口川

調査した場所
 出口川は町の中をながれていて、生活排水が流れこむ川である。川岸には草が茂り生えているが、雑草に踏み込みが行われていて、魚のすみかが減っている。川幅が狭く流れがゆるい。川底は砂が積もっていて魚の種類が多く、カワヨシノボリが定着している。

府中大渡橋

調査した場所
 田畑の間に家がまばらにあるような場所。比較的水はきれいで、川幅は広く、水の流れは早い。川の中に竹がたきさんあり、草が茂っているため、水辺の生物にと、生きやすい環境だといえる。見かける魚の種類が多く、アカザも見られる。川岸が整備され、川の中に入りやすくなっている。

アユ
 本州全域に住んでいる。天然アユは減少しているため、琵琶湖などから稚魚を取り寄せて放流している。石の表面に付いている藻も食べる。中流に多くいる。

カワムツ
 本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな瀬に多くいる。なまこや甲殻類を食べる。太い本の暗色の縦線があるのが特徴。

オオクチバス(別名:ブラウバス)
 北アメリカ産で、今では国内のほぼ全域に分布している。止水や流れのゆるやかな河川に生息し、大きな口で魚類や甲殻類を食べる。体側から背にかけて不規則な暗斑があり、腹側が黄味を帯びた白色になっているのが特徴。特定外来種に指定されている。

オオクチバス(別名:ブラウバス)
 北アメリカ産で、今では国内のほぼ全域に分布している。止水や流れのゆるやかな河川に生息し、大きな口で魚類や甲殻類を食べる。体側から背にかけて不規則な暗斑があり、腹側が黄味を帯びた白色になっているのが特徴。特定外来種に指定されている。

アヒルギ
 原産地は北アメリカ中部。現在日本各地に分布。幼魚は暗褐色の横線が入る。エラぶら上端に黒色の縦線があるのが特徴。

カマツカ

タモロコ

イトモロコ

メダカ

コウライニゴイ

アカザ
 宮城県・秋田県以南の本州、四国、九州に広く分布する。水が比較的きれいな川の中流から上流下部の瀬の石の下や間にすみ、石のすき間をかいくぐるように泳ぐことが多い。背びれは1本、胸びれは1本、胸びれが2本あり、トゲには毒線があるのでもみさわると痛い。芦田川水系での生息数は極めて少ない。

ズナギニゴイ
 近畿地方以西の限られた川にしかいない。川の中流から下流域に分布し流れのゆるやかな川底にすみ、砂にもぐって水生昆虫などを食べる。普通のニゴイよりも体長小さいが頭と吻は長く、体側に小黒点の列がある。

ドンコ
 東北を除く本州全域に住む。中流から下流に多い。夜行性の傾向が強く、砂底を好み、小魚・エビ・カニ・水生昆虫を食べる。広島県内では減少しているが、芦田川水系では、比較的安定した個体群がいる。

ウナギ
 太平洋側は北海道の日本海側から、日本海側は石狩川以南の日本各地に分布する。背側は暗色で、腹側は白色。特別な斑紋はない。春から秋に至ると水生昆虫類、小型の魚類、貝類、エビ類、カエル類などを活活と食べ、成長する。

ナマズ

イトモロコ

オオクチバス

メダカ

カワヨシノボリ

ギギ
 本州中部以南、四国、九州の東部に分布し、比較的水がきれいで、石や流木、石垣などがあるところで見られる。背びれと胸びれのつけが離れていて、すきさわると激しく痛む。つかまると胸びれでギューギューと叫ぶ。

ムギツク
 琵琶湖以西の本州と、九州北部に分布し、大きな石があるようなところのよとみにいる。小さなおちよぼ口が上向きについている。すきさわると痛む。水生昆虫を食べる。

ヤリタナゴ
 北海道と南九州を除く各地に生息し、平野部の細流や用水路の上などの水の流れる所にいる。ソウメをよよく食べ、マササガイやイシガイに産卵する。銀白色で体幅が狭く、背びれに黒い斑がある。

コイ

オオシマドジョウ

コイ

コイ

コイ

コイ

コイ

コイ

コイ

みんなが選んだ!

好きな生き物 トップ3

府中大渡橋

1.ギギ
 2.カワヨシノボリ
 ・アカザ・タモロコ
 3.カワムツ・オオシマドジョウ

出口川

1.ムギツク
 2.オオシマドジョウ
 3.カワヨシノボリ・オイカワ

今年の人気者 ギギ

大渡橋での調査で3回連続1位だよ!



毎年参加させてもらっているの、魚の分布が分かり興味深いです。

さまざまな生物が生息しているんだと実感した。

普段遊んでいる出口川の生き物の名前が知れて良かった。

水質調査結果(バックテスト等) 調査日:2019/9/29

項目	地点名	
	芦田川府中大渡橋	出口川
調査日	9月29日	9月29日
時間	10時10分	11時00分
気温(℃)	29.5℃	31℃
水温(℃)	22℃	24℃
透視度	100cm以上	100cm以上
pH	8.4	8.3
COD(mg/l)	1mg/L	2mg/L
亜硝酸(mg/l)	0.02mg/L	0.01mg/L
リン酸(mg/l)	0.05mg/L	0.2mg/L

まとめ

カワムツ、シマドジョウなど、比較的水質がよい場所で見つかったとともに、府中大渡橋では、10年ぶりにタモロコも見つかりました。両地点とも平成30年7月の大雨で川底が削られたり、土砂で埋まったり、大変な状況となりましたが、川底に生息する魚も確認でき、元の環境が戻りつつある傾向が見られました。

参加者の作品



出口川で見つけた生物

- サワガニ
- ヘビトンボ
- アメンボ
- スッポン
- サナエトンボ科
- ヤマエビ科
- コヤマトンボ
- ギンヤンマ
- オオシマドジョウ
- コオニヤンマ
- カワニナ
- ミズカマキリ
- シジミ属